荒木又右衛門　決闘鍵屋の辻（1952）

メディア 映画
ジャンル 時代劇　アクション　サスペンス
製作国　日本
色彩　B&W
時間　82分
初公開日 1952/01/03

【解説】
　歌舞伎や講談などでおなじみ、日本三大仇討ちの一つに数えられる「鍵屋の辻の決闘」を、黒澤明が脚色し森一生が監督した時代劇。荒木又右衛門を三船敏郎が演じた。
　寛永11年11月7日、荒木又右衛門と渡辺数馬らが、数馬の弟の仇である河合又五郎を鍵屋の辻で待ち伏せ襲撃、又右衛門は三十六人を斬り倒したとされている。しかし実際に又右衛門が斬ったのは二人だけだった。その事実とは。物語は「鍵屋の辻の決闘」の五年前にさかのぼる。数馬の弟が河合又五郎により殺害。又右衛門は数馬の仇討ちの助太刀をすることになった。又五郎の助太刀に立ったのは、又右衛門の親友である河合甚左衛門だった。そして五年後。又右衛門と数馬ら四人は、伊賀上野にある鍵屋の辻で、又五郎一行を待ち伏せた。

【クレジット】
監督　森一生
製作　本木荘二郎
脚本　黒澤明　Akira Kurosawa
撮影　山崎一雄
美術　松山崇
音楽　西梧郎
出演　三船敏郎　Toshiro Mifune　荒木又右衛門
片山明彦　渡邊数馬
小川虎之助　川合武右衛門
加東大介　森孫右衛門（六助）
高堂国典　鍵屋三右衛門
杉寛　萬屋喜右衛門
志村喬　河合甚左衛門
千秋実　河合又五郎
浜田百合子　荒木の妻みね
左卜全　六助の父
徳大寺伸　櫻井半兵衛
山田禅二　虎屋
広瀬嘉子　虎屋の女房
津山路子　鍵屋の小女

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.